

令和3年度の広報及び琵琶湖疏水関連事業の取組状況について

上下水道事業への理解促進や水需要の喚起のために取り組む広報活動においては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、動画等を活用したお風呂の魅力発信に取り組むとともに、広聴事業として上下水道モニター活動を再開している。

琵琶湖疏水については、引き続き、国庫補助金等を活用した通船事業への支援や日本遺産事業等を通じて、さらなる魅力向上と発信強化に取り組んでいる。

(取組状況)

1 広報活動

①お風呂の利用促進・動画広報

夏場のお風呂入浴の促進のため、子どもから大人まで幅広い世代の認知度が高いアニメキャラクター「紙兎ロペ」とコラボレーションし、夏のお風呂入浴のメリットを動画や検針時に配布するリーフレットで配信。

動画・紙面のアンケートでは、「浴槽につかろうと思った」、「入浴回数を増やそうと思った」と答えた方が過半数以上を占めるなど、入浴行動に変化がみられるなどの効果が見られた。

◆公開日時・視聴数

令和3年7月30日～（総視聴数：約6万5千回 ※11月末時点）



（アンケート抜粋）

記事や動画を見てお風呂につかろう（回数を増やそう）と思った割合（回答数680）

	割合
つかろうと思った	36.0%
回数を増やそうと思った	47.5%
特につかろうとは思わない	1.9%
特に回数を増やそうとは思わない	14.6%
計	100%

②デザインマンホールマップの発行

下水道事業に更に親しみ、関心を持っていただくことを目的に今年3月に市内に設置した、人気ゲームソフト「ポケットモンスター」が描かれたマンホール（ポケふた）や当局のマスコットキャラクター澄都くん・ひかりちゃんのデザインマンホールを紹介するマップを作成。

◆仕様・発行部数

A3判二つ折り／16,000部

◆配布先

京都市内公立・私立小学校（対象：４年生）、京都市営地下鉄全駅、
京都総合観光案内所（京なび）等

◆配布開始日：令和３年１０月２２日～



③上下水道モニター

水道・下水道施設等の見学を通して市民から事業への意見や提案をいただく取組として、平成１５年１１月に制度開始。（今回で１７期目）

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、１１月に活動を開始。琵琶湖疏水見学会としてびわ湖疏水船への乗船や蹴上インクライン、琵琶湖疏水記念館の解説ツアーを実施。今後も広報物のモニタリング調査や水道及び下水道施設見学会を実施し、事業への意見や要望をお聞きし、施策や事業に活用していく。

◆モニター参加者

市内在住の２３名（※令和２年度モニターからの継続）



２ 琵琶湖疏水関連事業

①琵琶湖疏水通船事業

春運航において、緊急事態宣言の発令に伴い、７０日間運航予定のところ２４日間のための運航となった。秋運航は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、１０月３０日から運航を開始した。

また、地方創生推進交付金を活用した支援事業として、秋季運航において、親子乗船会を開催するとともに、下船後のお客様を蹴上地域に点在する疏水関連施設へ誘導するため、下り便第３トンネルにおいて、スライドショーの演出を新たに導入した。

◆運航実績

	運航期間 (当初計画)	運航日数 (当初計画)	乗船者数	乗船率
R 3 春季	3/27-4/24 (3/27-6/30)	24 日 (70 日)	2,783 名	83.1%
秋季	10/30-11/30 (10/1-11/30)	27 日 (48 日)	3,415 名	98.0%

◆親子乗船会（秋季実績※）

- ・定員：630 名
 - ・日程：令和 3 年 10 月 30 日（土）～11 月 14 日（日）の土日祝日 7 日間
 - ・申込数：春季 1,363 名（抽選倍率 3.1 倍），秋季 1,607 名（抽選倍率 8.2 倍）
- ※春季（定員 435 名），秋季（定員 195 名）で実施予定だったが，コロナ禍により春季分を延期し，秋季にまとめて実施。

◆スライドショー

- ・内容：琵琶湖疏水記念館，南禅寺水路閣，蹴上インクライン，無鄰菴の写真（1 施設につき 4～5 枚）を投影し，ガイドが説明（約 4 分間）

②琵琶湖疏水記念館

特別展として歴史資料館等と連携した「琵琶湖疏水が支えた京都市電-水力発電が果たした役割-」，日本遺産認定を記念した「名所・琵琶湖疏水のいま・むかし～疏水を観る，楽しむ～」を開催。

また，令和 2 年度に「琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点計画」が文化観光推進法に基づき国に認定されたことを契機に，同館が日本遺産・琵琶湖疏水フィールドミュージアムの拠点に位置付けられ，更なる魅力向上を図る取組の一環として，コーヒーブース設置のほか，KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭を開催。

◆琵琶湖疏水記念館特別展

- ・特別展「琵琶湖疏水が支えた京都市電～水力発電が果たした役割～」
京都市歴史資料館・京都市考古資料館・京都鉄道博物館との 4 館連携展示
（令和 3 年 6 月 18 日～9 月 26 日）
- ・日本遺産認定記念特別展「名所・琵琶湖疏水のいま・むかし～疏水を観る，楽しむ～」
「名所・琵琶湖疏水」がいかに生まれ，親しまれてきたかを紹介
（令和 3 年 10 月 26 日～令和 4 年 1 月 30 日）

◆文化観光推進法事業関連

- ・コーヒーブース等の設置（令和 3 年 10 月 1 日～12 月 19 日，令和 4 年 3 月 1 日～3 月 31 日（予定））
春秋の観光シーズンを中心に，コーヒーや軽食等を提供する飲食ブース・キッチンカーを設置

- ・国際写真祭連携開催（令和3年9月18日～10月17日）
「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」を琵琶湖疏水記念館屋外テラス等で開催



③その他（日本遺産、選奨土木遺産等）

令和2年度に琵琶湖疏水が日本遺産に認定されたことを契機に、琵琶湖疏水の魅力向上に取り組んでいる。

令和3年度は、大津閘門の活用に向けた改修工事や水路・石積等の改修、旧御所水道ポンプ室の美装化のほか、疏水沿線を歩いて楽しんでもいただくためのウォーキングマップの発行（琵琶湖～鴨川間、令和4年3月発行予定）やマップと連動した案内標識の整備等に取り組んでいる。

また、令和3年9月には、琵琶湖疏水が、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的とする「選奨土木遺産」に認定された。

今後とも、上記の疏水関連事業を通じて、さらなる琵琶湖疏水の魅力向上及び情報発信に取り組み、明治の先人たちが築き上げた偉業を未来へ継承していく。